

報告第18号

令和元年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、令和元年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和2年9月16日提出

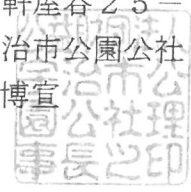
宇治市長 山 本 正



2公宇公第133号
令和2年7月7日

宇治市長 山本 正 様

所在地 宇治市広野町八軒屋谷25-1
法人名 公益財団法人宇治市公園公社
代表者氏名 理事長 吉田 博宣



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項の規定に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	公益財団法人 宇治市公園公社	設立年月日	昭和63年7月11日
公益財団法人への移行年月日			平成22年10月1日
基本財産	30,000千円 (移行前 30,000千円 うち市出えん・出資額 30,000千円 出資比率100%)		
設立目的	宇治市における都市緑化推進事業及び公園緑地事業の発展振興を図り、市街地の緑化及び緑地保全を促進するとともに、都市公園等の円滑な管理運営及び健全な利用を通じてスポーツ・レクリエーションの振興を図り、もって都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与する。		

2. 役職員等の状況

		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	2	2	3	2	2	3	2	2	3
職員	管理職	6	0	5	6	0	5	6	0	5
	一般職	1	9	0	0	1	9	0	0	1
	計	2	5	0	5	2	5	0	5	2

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
緑化推進事業	都市緑化基金の造成、管理及び運営 都市緑化の推進を図るための調査研究、助成事業等 市民の緑化意識の向上 自然環境の保護及び整備 植物文化の普及及び向上
都市公園・都市公園施設の管理運営事業	宇治市植物公園、西宇治公園・巨椋ふれあい運動ひろば、黄檗公園・東山公園の管理及び運営
スポーツ・レクリエーション事業	スポーツ需要の拡大及び健康の維持増進のための健康づくり講座

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
収 益	360,494,540	324,223,131	327,144,292
収益事業収益等	17,271,625	17,464,213	16,013,687
市 支 出 金	343,222,915	306,758,918	311,130,605
人 件 費	128,920,752	118,338,913	121,905,013
事 業 費	214,302,163	188,420,005	189,225,592
費 用	360,329,863	320,758,948	331,263,202
人 件 費	140,794,957	129,567,780	137,155,991
事 業 費	219,534,906	191,191,168	194,107,211
当期経常増減額	164,677	3,464,183	△4,118,910
当期正味財産増減額	△485,123	3,163,782	△2,770,640
期末正味財産合計額	170,797,301	173,961,083	171,190,443

2) 貸借対照表

(単位：円)

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
資産合計	218,969,538	227,461,955	224,561,197
流 動 資 産	12,071,960	14,118,284	13,396,748
固 定 資 産	206,897,578	213,343,671	211,164,449
負債合計	48,172,237	53,500,872	53,370,754
流 動 負 債	21,560,855	23,340,490	21,924,872
固 定 負 債	26,611,382	30,160,382	31,445,882
正味財産合計	170,797,301	173,961,083	171,190,443
基 本 財 産	31,211,343	31,028,343	30,791,343
その他正味財産	139,585,958	142,932,740	140,399,100

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補 助 金	128,920,752	118,338,913	121,905,013
委 託 料	214,302,163	188,420,005	189,225,592
その他（分担金等）	0	0	0
計	343,222,915	306,758,918	311,130,605
貸 付 金	0	0	0
借入金残高（期末）	0	0	0
市の債務保証残高（期末）	0	0	0
市の損失補償残高（期末）	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
人件費比率	人件費計÷費用計	39.1%	40.4%	41.4%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	78.0%	76.5%	76.2%
流動比率	流動資産÷流動負債	56.0%	60.5%	61.1%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	0%	0%	0%

5. 経営評価 (法人自己評価)

視点	評価	コメント
目的適合性	A	<p>当社は、都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与することを目的とし、都市緑化事業に取り組み、緑豊かなまちづくりとスポーツ・レクリエーションの振興と健康づくりを推進する事業の発展的展開を図ってきました。また、公益法人として、公益目的事業の推進に努めております。</p> <p>「宇治市植物公園」については、都市緑化の拠点として、市街地の緑化保全の推進並びに市民の緑化意識の向上及び宇治地域植物の保存・育成に寄与し、併せて環境保全、防災、景観、福祉、市民参画、レクリエーション等の機能を有する「みどりの総合拠点」としての役割を果たしてきました。</p> <p>都市緑化により街の魅力を高め、緑豊かな住環境推進の核となる公園として、公益性の強化、顧客満足度の向上、企業倫理の確立を念頭に、緑の情報発信、緑の空間の創造、「みどりの学校」等緑のリーダーの育成、市民参加型事業及び子ども・高齢者・身障者対象の事業の実施、生物多様性の保護等、積極的な事業・施策展開を図ると共に公園管理運営士の資格取得、ボランティア活動の支援等、緑化推進を基軸として多種多様に取り組んでおります。</p> <p>「運動公園施設」については、体育施設管理士、体育施設運営士、プール衛生管理者等の有資格者の職員を配置し、安全安心な運営管理のもと、市民サービスの向上とスポーツ・レクリエーションの振興を基調に置いた貸館施設事業の運営にあっております。</p> <p>加えて、公園公社の自主事業として多様な健康運動教室等を実施し、市民の健康増進と市民スポーツの普及にも努めております。</p>
効率性	A	<p>「公社事務局」については、振込業務の電子化、一元的な会計処理の電算化など事務の簡素化と効率化に努めております。</p> <p>「宇治市植物公園」については、限られた人員の中で、数多くの展示会・講習会、イベントを実施するため、フレックスタイムの導入による柔軟な勤務体系の構築や、これまで培ってきた経験と知識、データ等を最大限に活用して施設の管理・運営の効率化を図つ</p>

		<p>ております。</p> <p>「運動公園施設」については、施設管理や運営のための有資格者を配置することにより、専門的な立場から安全で、効率的・効果的な業務の推進を図っております。</p>
組織運営 健全性	B	<p>公益法人の核として、ガバナンスの強化、組織間の連携強化を図ると共に、過去の教訓を生かし、更なるコンプライアンスの強化に努めております。</p> <p>また、公益法人の適正な会計処理として、定期的な監査の実施や税理士による専門的なチェックを行っております。</p> <p>さらに、接客マニュアル、救急マニュアルと緊急時対応マニュアル等に基づく、顧客サービスの向上、安全安心な施設利用と危機管理体制の確立に努めますと共にホームページによる情報発信と法人情報の公開により、経営の透明性の確保を図っております。</p>
財務 健全性	B	<p>平成 18 年度から指定管理者の指定を受け、補助金、指定管理料の中で各施設の管理運営を行っていますが、この間、公益法人として、歳入面では、利用料収入を上げるための継続した取組が必要となっております。</p> <p>とりわけ植物公園では、入園者の増加に向け、施設や見所等の P Rを始め、タイムリーな企画を創意工夫し、参加型の事業等、積極的に多様なイベント等の事業展開を図り、入園者数は、平成 18 年度以降概ね 10 万人を確保して参りましたが、平成 30 年度は、宇治市の厳しい財政状況の下で、タペストリーの絵柄の常緑化や各種イベントの縮小、廃止に加え、気象要件も加わり、入園者が 8 万 4 千人台まで大幅に減少したことを受けまして、令和元年度は、入園者数 10 万人の回復を目標にタペストリーの絵柄の復活、新たなイベントの企画、広報宣伝活動の強化等、多様な取組を積極的に行い、目標の 10 万人を達成し、利用料収入においても約 20%の増加となりました。</p> <p>一方、黄檗公園、西宇治公園につきましては、施設利用者の利用率の向上と自主事業収入の増加を図るため、各種健康教室を開催すると共に、新種目の企画による利用者の増加に向けた取組を間断なく行っておりまして、公社自主事業の参加者は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により 3 月は休止したにも拘らず、昨年度とほぼ同数の延 12,000 人となり、利用料収入は、約 910 万円となっています。</p> <p>なお、自主事業収入は、公益目的事業の支出に振替えており、公益目的事業は、これまで以上に事業の充実が図れているところであります。</p>
総合評価	B	<p>「指定管理者」としては、指定管理料を有効に活用し、市民サービスの向上、施設利用者の増加に努めますと共に、経費の削減や効率的な管理・運営の推進にも努めております。一方、「公益法人」</p>

	<p>としては、健全で透明性の高い経営と市民満足度の高い施設の運営を通して、効果的な公益目的事業の実現に努めております。</p> <p>令和元年度の各施設の管理・運営は事業計画に沿って良好に行えたところではありますが、更なる利用者の増加と利用料収入の向上を図ることは、不断の課題であると捉えております。従いまして、より一層の収益と市民サービスの向上に向けまして、経営マネジメントを継続し、常にコストを意識した業務運営を行うと共に、市民ニーズを的確に捉えた各種事業の企画、運営を継続して積極的に行っていくことが必要となっています。</p>
--	--

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い